

第1章 鉄道交通事故の動向

1 近年の運転事故の状況

鉄道交通における運転事故は、長期的には減少傾向にあり、平成元年には、1,414件であったものが、11年には904件、21年には839件となった（第1-41図）。21年は前年比1.5%減、列車走行100万キロメートル当たりでは0.61件で前年比1.6%減となった。

事故種類別の発生件数についてみると、踏切障害

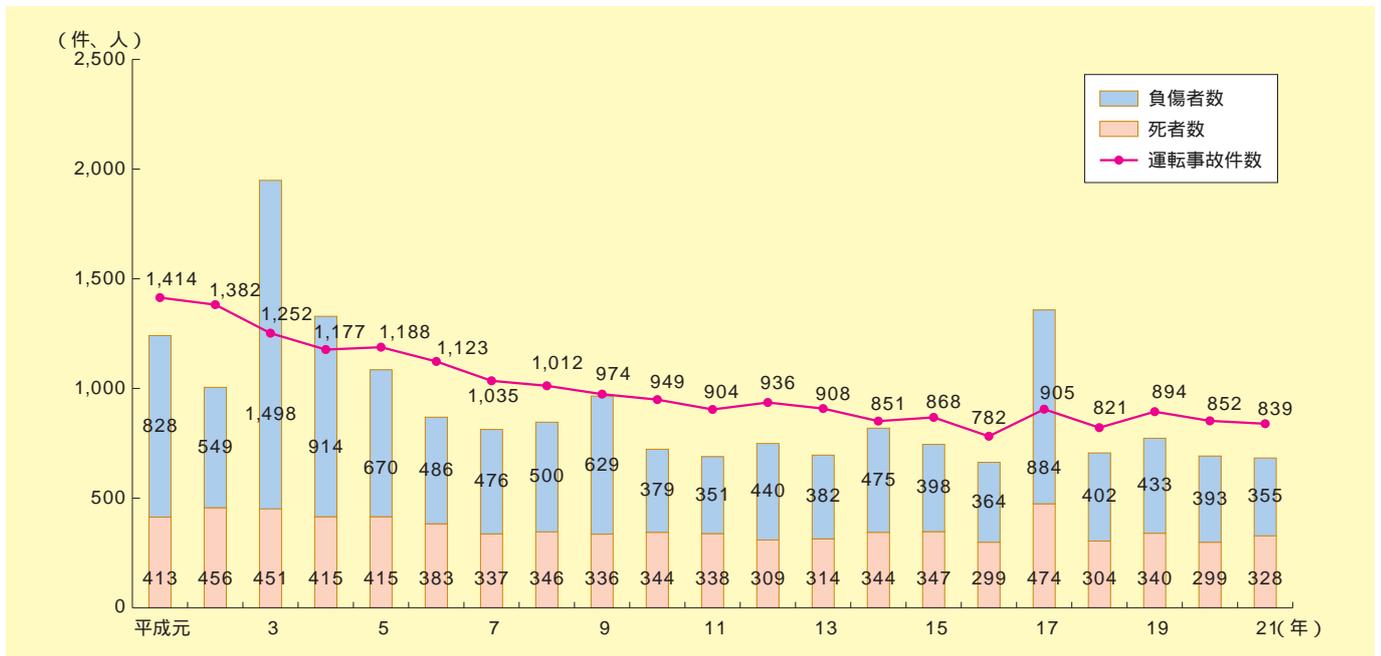
が321件（38.3%）、人身障害424件（50.5%）、道路障害82件（9.8%）であった（第1-30表）。

運転事故による死傷者数は683人（うち死亡者328人）で前年比1.3%減となった。

2 平成21年中の列車事故の状況

列車事故（運転事故のうち列車衝突事故、列車脱線事故及び列車火災事故をいう。）は11件（運転事

第1-41図 運転事故の件数と死傷者数の推移



注 1 国土交通省資料による。  
2 死者数は24時間死者。

第1-30表 事故種類別の運転事故の発生状況

(平成21年)

区分	列車事故				その他の事故				合計	
	列車衝突	列車脱線	列車火災	小計	踏切障害	道路障害	人身障害	物損		
件数(件)	2 0.2%	8 1.0%	1 0.1%	11 1.3%	321 38.3%	82 9.8%	424 50.5%	1 0.1%	828 98.7%	839 100.0%
死傷者(人)	0 (0)	7 (0)	4 (0)	11 (0)	202 (118)	27 (0)	443 (210)	/	672 (328)	683 (328)

注 1 ( )内は、死亡者で死傷者の内数である。  
2 踏切障害とは、踏切道において列車又は車両が道路を通行する人又は車両等と衝突し、又は接触した事故のうち列車事故に至らなかったもの。  
3 道路障害とは、踏切道以外の道路において、列車又は車両が道路を通行する人又は車両等と衝突し、又は接触した事故のうち列車事故に至らなかったもの。  
4 人身障害とは、列車又は車両の運転により人の死傷を生じた事故をいう(列車事故、踏切障害及び道路障害を除く)。  
5 物損とは、列車又は車両の運転により500万円以上の物損を生じた事故をいう(列車事故、踏切障害、道路障害及び人身障害を除く)。

運転事故

列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故及び鉄道物損事故をいう。なお、軌道の運転事故は、鉄道運転事故と同様に定義する。

故件数の1.3%)であり、前年比4件減であった。

列車事故を原因別にみると、係員の取扱誤りによるものが4件、車両・鉄道施設によるものが4件、鉄道外によるものが2件、自然災害によるものが1件である。

### 3 平成21年中の踏切事故の状況

踏切事故は、踏切保安設備の整備等により、長期にわたって減少傾向にあり、平成21年中に発生した踏切事故の件数は322件で前年比3.3%減であり、運転事故(839件)の約38.3%を占めた。この割合は、平成元年には58.1%であったものが11年には51.4%、21年には38.3%となり減少傾向にある。また、死傷者数は206人で前年比7.2%減となった(第1-42図)。

踏切事故の発生原因は、列車が通過する際の直前横断等道路交通側に起因するものがほとんどである。また、衝突した相手側としては、自動車が高い割合を示しているが、その割合は低下している(第

1-43図)。

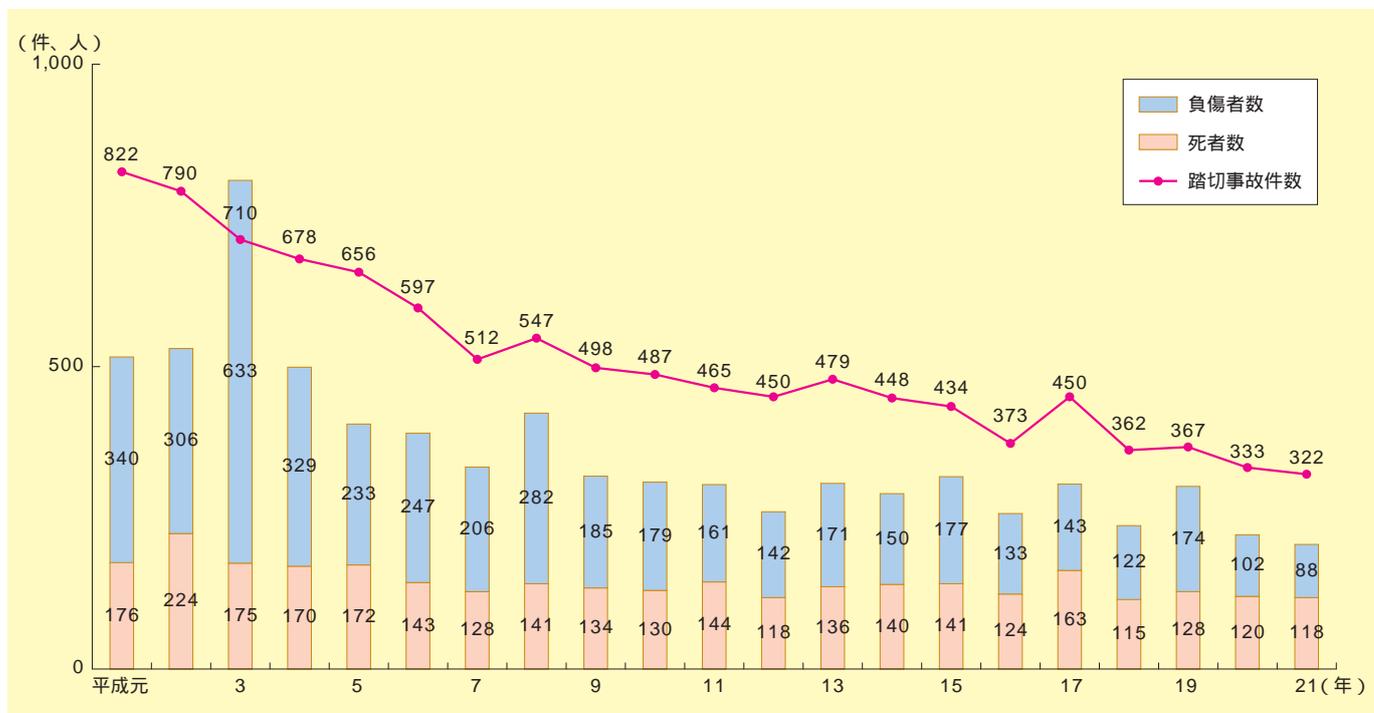
また、踏切道の種類別にみると、発生件数では第1種が最も多いが、踏切道100か所当たりでは第1種が最も少なくなっている(第1-31表)。

第1-31表 踏切道種別の踏切事故件数 (平成21年)

踏切道	踏切道数	構成率 (踏切道数)	件数	100か所 当たり件数
	か所	%	件	件
第1種	29,900	87.3	263	0.88
第3種	947	2.8	11	1.16
第4種	3,405	9.9	48	1.41
計	34,252	100.0	322	0.94

- 注 1 国土交通省資料による。  
 2 踏切道種別は、次による。  
 第1種 自動遮断機が設置されている踏切道又は踏切保安係が遮断機を操作している踏切道  
 第3種 遮断機はないが警報機が設置されている踏切道  
 第4種 踏切保安係もあらず、遮断機も警報機も設置されていない踏切道  
 第2種については、現在設置されているものはない。  
 3 踏切道数は、平成20年度末の数字である。  
 4 100か所当たり件数とは、踏切道100か所当たりの踏切事故件数である。

第1-42図 踏切事故の件数と死傷者数の推移

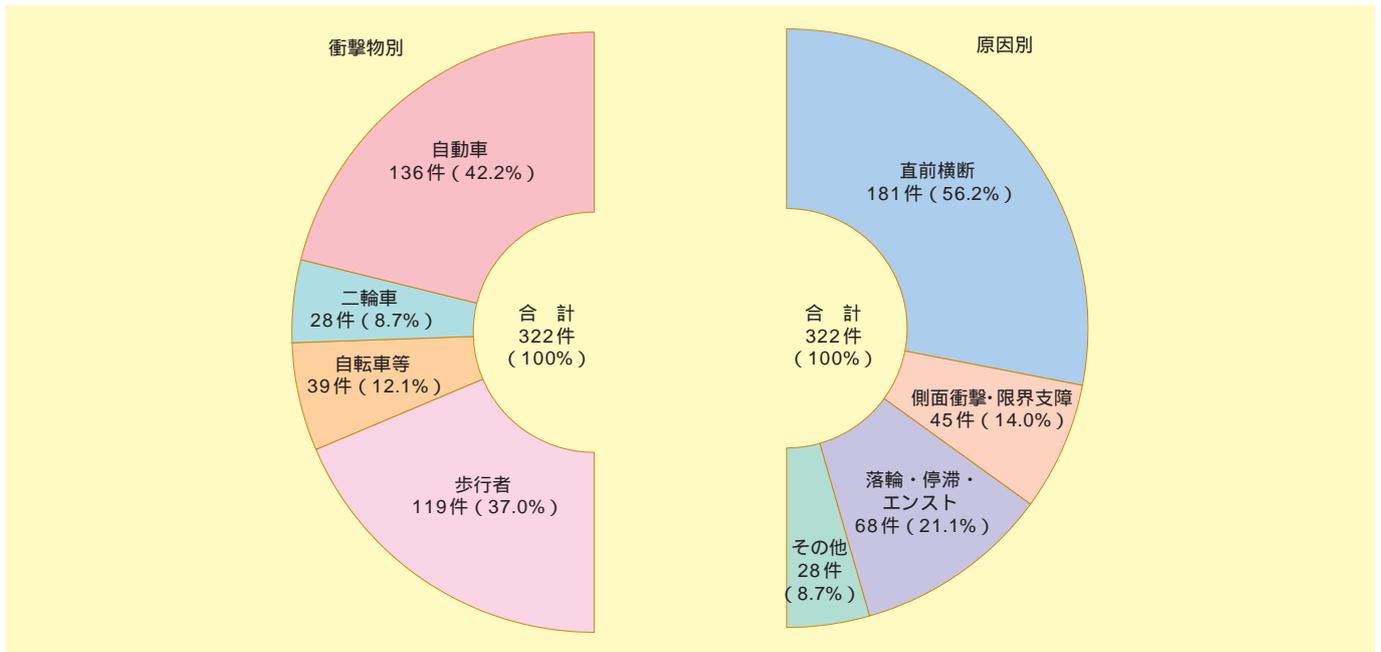


- 注 1 国土交通省資料による。  
 2 死者数は24時間死者。

#### 踏切事故

列車事故のうち、踏切道において、列車又は車両が道路を通行する人又は車両等と衝突し、又は接触した事故及び踏切障害事故をいう。

第1-43図 原因別・衝撃物別踏切事故発生件数（平成21年）



注 国土交通省資料による。

第1-32表 重大事故一覧

(平成21年)

発生日	事業者名	線名・場所	事故種類	死傷者数	脱線両数	主原因及び概要
12/28	JR北海道	根室線 富良野駅構内	鉄道人身障害事故	12人 (0人)	0	富良野駅構内で、進入して来た列車が除雪車と衝突し、乗客等が負傷した。

注 1 国土交通省資料による。  
 2 重大事故とは、死傷者が10名以上又は脱線両数が10両以上生じた事故をいう。  
 3 死傷者数の( )内は、死亡者数で内数を示す。

#### 4 平成21年中の鉄道交通における重大事故の発生状況

平成21年12月28日にJR北海道の根室線富良野駅において、列車が除雪車と衝突し、乗客等12人が負傷した（第1-32表）。